



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 小倉クラッチ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小倉 康宏
(J A S D A Q ・ コード 6408)
問合せ先
役職・氏名 取締役常務執行役員 河内 正美
電話 0277-54-7101

退職給付制度の変更による特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、現行の退職給付制度について、平成23年10月1日より確定拠出年金制度及び確定給付企業年金制度に変更することと致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、厚生労働省より平成23年9月20日付で企業型年金規約、平成23年10月1日付で確定給付企業年金規約の承認を受けております。

また、本件に伴い、平成24年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

I. 退職給付制度の変更による特別損失の計上

1. 制度変更の目的

適格退職年金制度が平成24年3月に廃止されることを踏まえ、平成23年10月から確定拠出年金制度と確定給付企業年金制度を導入することにより、退職給付制度の安定的な継続と財務上の不確定リスクの軽減を図ることを目的としております。

2. 制度変更の概要

現行の適格退職年金制度から確定拠出年金制度と確定給付企業年金制度を併用した新制度に変更いたします。

- | | |
|------------|-----------------------|
| (1) 制度移行日 | 平成23年10月1日 |
| (2) 運営管理機関 | 株式会社みずほ銀行・みずほ信託銀行株式会社 |
| (3) 対象 | 従業員（一部を除く） |

3. 業績に与える影響

今回の制度変更により、平成24年3月期第3四半期において約292百万円の特別損失の計上を見込んでおります。

II. 平成24年3月期の業績予想の修正について

欧州財政問題やタイ洪水被害、中国の金融引き締め等、世界経済は不透明な状況が続いております。このような状況のもと、当社グループは輸送機器用事業・一般産業用事業においてグローバル市場で積極的な販売活動を行った結果、売上高は微増となる見込みです。利益面では、材料費の高騰や円高の定着に伴う為替差損の発生および上記I.の影響により特別損失として退職給付制度改定損を計上することから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

1. 平成24年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	38,070	700	650	450	30.01
今回修正 (B)	38,170	550	230	130	8.67
増減額 (B - A)	100	△150	△420	△320	
増減率 (%)	0.3	△21.4	△64.6	△71.1	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	38,797	947	637	799	53.29

(注) 上記業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。今後の経済情勢や事業運営内外の状況変化により、実際の業績が記載の予想値と大きく異なる可能性があります。

以 上